

同志社大学歴史資料館調査研究報告第14集

2013（平成25）～2016（平成28）年度科学研究費助成事業
（基盤研究C・課題番号25370895・研究代表者 若林邦彦）
同志社大学歴史資料館第4期南山城総合学術調査
研究成果報告書

木津川・淀川流域における弥生～古墳時代
集落・墳墓の動態に関する研究

2017年3月

同志社大学歴史資料館

例 言

本書は、日本学術振興会科学研究費助成金（基盤研究C）を受けて実施した研究の報告書である。研究の課題・組織・経費・成果は以下の通りである。編集は、若林邦彦が行った。また、本研究は、同じ期間に行った、同志社大学歴史資料館第4期南山城総合学術調査事業（2012～2016年度）の一環でもある。科研費助成金を上回る出費については、同館予算をもとに研究を行った。

課題名： 木津川・淀川流域における弥生～古墳時代集落・墳墓の動態に関する研究（課題番号25370895）

研究代表者： 若林邦彦〔同志社大学歴史資料館准教授〕

連携研究者： 伊藤淳史〔京都大学文化財総合研究センター〕

研究協力者：

藤井 整〔京都府教育委員会文化財保護課〕

古川 匠〔京都府教育委員会文化財保護課〕

宇野隆志〔橿原考古学研究所（2013年度までは京都市文化財保護課所属）〕

濱田延充〔寝屋川市教育委員会文化スポーツ室〕

真鍋成史〔交野市教育委員会社会教育課〕

吉田知史〔交野市教育委員会社会教育課〕

研究経費：

平成25年度	直接経費	500,000円	間接経費	150,000円
平成26年度	直接経費	500,000円	間接経費	150,000円
平成27年度	直接経費	500,000円	間接経費	150,000円
平成28年度	直接経費	1,100,000円	間接経費	330,000円

研究成果： 本書

研究発表：

若林邦彦 2017「ムラの立地から古代国家形成を考える」『科学』2017年2月号 岩波書店

若林邦彦 2016「集落研究からみた弥生から古墳時代の変化」『集落動態からみた弥生時代から古墳時代への社会変化』古代学研究会編 六一書房

若林邦彦 2016「水害に関わる環境と初期農耕社会集落動態」『国立歴史民俗博物館研究報告』第203集

目 次

本研究の目的と経緯（若林邦彦）	1
京都盆地の弥生集落動態（伊藤淳史）	7
淀川流域の弥生時代遺跡群の動態（濱田延充）	17
弥生墓制からみた淀川・木津川水系の集団関係（藤井 整）	27
山城地域の古墳時代集落の動態（古川 匠）	53
京都盆地における古墳と集落の動態（宇野隆志）	73
交野の古墳時代集落動態（吉田知史）	91
金属器生産からみた木津川・淀川流域の弥生～古墳時代集落（真鍋成史）	115
集落と墳墓の立地からみた弥生～古墳時代の社会変化（若林邦彦）	137
交野市郡津丸山古墳の測量成果（若林邦彦）	163
木津川・淀川流域の弥生～古墳時代集落遺跡調査データ（若林邦彦・手島美香）	173

木津川・淀川流域における
弥生～古墳時代集落・墳墓の動態に関する研究

2013（平成25）年度～2016（平成28）年度科学研究費助成事業
（基盤研究C・課題番号25370895・研究代表者 若林邦彦）
同志社大学歴史資料館第4期南山城総合学術調査
研究成果報告書

2017年3月発行

編集 若林邦彦
発行 同志社大学歴史資料館
610-0934 京田辺市多々羅都谷1-3
印刷 株式会社 図書印刷 同朋舎
